

「みんなで手話を覚えよう」

手話は、日本語と同じもう一つの言語(母国語)です。

身近なコミュニケーションの一つとして、日常生活に関わる手話をご紹介します。

『おつかれさま』

誰もがよく口にするねぎらいの言葉。

仕事が終わった時など、皆さんが普段使っているように声と一緒に話しかけてくれると嬉しいです。

【マスクをはずして話しましょう】

最近は、風邪などの予防のためにマスクを常につけている人が増えていますね。

聞こえない人は、口の動きを読み取ります。

話す時はマスクをとって話しましょう。



①両手はグーにし、右手で左手首の近くをトントンと叩くようにする。

(相手を労わるような表情、まなざしで)



②叩く間に、軽くおじぎする。

(肩を叩いて労をねぎらう様子に由来する)

お問い合わせ

市役所市民福祉部社会福祉課 障がい福祉係

☎ 6 3 — 5 1 1 3 FAX 6 3 — 5 1 2 1

ご協力：^{きてき}聴手記の会



佐渡授産ネットワークからのお知らせ

市内障がい福祉施設が相互理解と協同活動の推進のためにネットワークを作りました。

このコーナーでは、各施設の活動をご紹介しますので市民の皆さまもぜひご利用ください。

今回のおすすめは、純佐渡産素材にこだわり、作り出した逸品「島ふりかけ」です。

ベースとなる昆布は、4年前から商品化されている「佐渡島こんぶ」を使用し、葉90%、根茎10%を過乾燥後粉碎し、2個のふりいで分け、粗目の物をふりかけとして使っています。そして、漁師さんから直接仕入れた焼飛び魚も背骨まで丸ごと乾燥後粉碎し、同じく粗目に残した物を使っています。一手間かけ、小骨の混入を防止するため、3回にわたって選別し、点検しています。また、味の決め手となる塩は、薪焚き上げ自然塩「佐渡の塩」を使用し、味もまるやかです。

この3品を微妙にブレンドした「島ふりかけ」は、ふりかけはもちろんのこと、お好みの具材をトッピングしてのお茶漬や浅漬、天ぷら、パスタなど、アレンジが広がります。

相川岩百合では、利用者と職員が純佐渡産素材の良さを最大限に引き出させる商品を日々考えて、作り出しています。

第10回 おすすめの一品

相川岩百合

「島ふりかけ」



「佐渡」イメージのラベルが目印

お問い合わせ

相川栄町24番地

障がい福祉サービス事業所

相川岩百合

☎ 7 4 — 0 0 1 7 FAX 7 4 — 0 0 1 8